

安倍政権の暴走をストップ

市民と野党の共闘発展で新しい政治を

被災者の生活と生業の再建を最優先に

達増知事に来年度予算に関する申し入れ

12月25日、日本共産党岩手県委員会と県議団は、達増拓也知事にたいし、来年度予算に関する申し入れを行いました。

申し入れでは、安倍暴走政治の転換を実現することは県民の暮らしにとっても重要な課題と指摘。市民と野党の共闘を進展させ安倍政権を打倒し新しい政治の実現に取り組むと強調しました。

東日本大震災津波からの復興の課題では、被災者の医療費・介護利用料の免除措置を国として復活させ、県独自に来年以降も継続実施すること。災害公営住宅家賃の国の軽減策が6年目から縮小されることに伴い、県・市町村の独自の軽減策の周知徹底を図

～来年度予算要望の主な内容～

- 被災者の医療費・介護利用料等の免除措置を国として復活させ、県独自に来年以降も継続実施すること。
- 災害公営住宅家賃の県・市町村独自の軽減策を周知徹底すること。収入超過者に対する独自の軽減策を講ずること。
- 台風10号災害被災者の住宅補修への支援の拡充を。
- 子どもの医療費助成の現物給付を小学校卒業まで拡充を。
- 高すぎる国保税は引き下げ、滞納者からの保険証の取り上げはただちに中止すること。
- 子どもの貧困対策一就学援助の対象を拡大すること。子ども食堂の取り組みを支援し広げること。
- 新規卒業者の県内就職率向上に積極的に取り組むこと。
- 35人学級を小学校全学年で実施すること。

り、収入超過者に対する独自の軽減策を講ずるよう求めました。



達増知事(左)に申し入れる(右から)高田一郎県議、斉藤県議、菅原則勝党県委員長、千田美津子県議、吉田恭子党県常任委員(12月25日)

台風10号災害対策では、被災者の住宅補修に対する支援の拡充を要望しました。子どもの医療費助成については、県議会での請願採択を踏まえ、小学校卒業まで現物給付とすることを求めました。国保の都道府県化にあたっては、低所得者に高い保険料が課せられる

国保の構造的な問題の打開を大前提に、国庫負担の大幅な増額を求め、滞納者からの保険証の取り上げはやめるよう求めました。子どもの貧困対策では、就学援助の周知徹底と対象児童・品目の拡大、子ども食堂の取り組みを支援し広げよう求めました。

12月県議会

被災地福祉灯油7年連続実施

12月県議会が11月28日から12月11日まで開かれました。高田一郎県議が一般質問に立つとともに、斉藤県議が議案と請願不採択に対する討論に立ちました。

県民の切実な要求と9月県議会での請願採択を受け、被災地福祉灯油が7年連続で実施されることになりました。沿岸12市町村で実施される見込みです。東日本大震災津波からの復興



最終本会議で討論に立つ斉藤県議(12月11日)

の課題では、住宅再建への支援の拡充と被災者生活再建支援金の申請期限の延長を求めました。県は、「被災者生活再建支援金の拡充を国に求めている。申請期限の延長は公益財団法人道庁県会館と協議中」と答弁。その後、申請期限が平成31年4月10日まで1年間延長されることになりました。災害公営住宅の家賃の軽減策については、「県・市町村の独自の軽減策で対応できる」、収入超過者に対する軽減策については、「具体的な対応については各市町村と連携を取りながら検討を進めていく」と答えました。県民から提出された請願では、青年の雇用と働き方の改善を求める請願は採択されたものの、労働法制の改善に反対する請願は不採択となり、意見書も不採択となりました。日米共同訓練とオスプレイの訓練参加中止を求める請願も不採択となりました。私学

援し広げよう要望しました。教育の課題では35人学級を来年度から小学校全学年に拡充することなどを求めました。達増知事は「申し入れも参考にしながら、来年度予算の調整を進めていきたい」と答えました。

県民と心ひとつに
日本共産党
斉藤 信の
県政報告

2018年1月 No. 155

発行：日本共産党岩手県議団事務局

斉藤信事務所 TEL. 019(651)1241
〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6

日本共産党控室 TEL. 019(629)6050
〒020-0023 盛岡市内丸10-1

斉藤信のホームページ

<http://www.saito-shin.sakura.ne.jp/>

住みよい盛岡めざして

日本共産党

5人の市議団と力を合わせて頑張ります



庄子春治



鈴木礼子



高橋和夫



神部伸也



鈴木 努

助成の充実強化等を求める二つの請願は意見書とともに採択されました(主な請願に対する盛岡選挙区選出県議の賛否は裏面に掲載)。

国保都道府県化の問題点を指摘

国保税の最大の問題は「高すぎて払えない国保税」となっていることです。一方で滞納世帯は昨年度で20617世帯・10.94%にのぼり、滞納者から正規の保険証を取り上げ資格証明書・短期保険証が発行され、財産の差し押さえまで行われていることは、「自治体の本旨は福祉の増進」「国保は社会保障」という自治体本来の在り方、国保の在り方に反するものです。国保の都道府県化は、こうした国保税の構造的な問題を解決することにはつながりません。



千葉副知事に要請する岩手県母親大会実行委員会のみなさん(11月30日)

11月30日、岩手県母親大会実行委員会は、母親大会決議に基づ

母親大会実行委員会の皆さんと対県交渉

き各部署と交渉。県議団も同席しました。千葉副知事には、①国保の広域化に伴い県として独自の財政支出を行い、住民負担を軽減すること②子どもの医療費助成を小学校卒業まで現物給付とすること③を要請しました。

実行委員会の方々は、達増知事を表敬訪問し、昨年8月に本県で開催された日本母親大会の成功を報告。和やかに懇談しました。

子どもの貧困対策—生活実態調査を検討



12月県議会で一般質問に立つ高田一郎県議(12月6日)

在で9市町・14箇所となっており、具体的な支援とともにネットワーキングに取り組んでいくと答弁しました。

また、子どもの貧困対策にとってもSSW(スクールソーシャルワーカー)を積極的に配置すべきだと求めました。

子どもの貧困の具体的実態と貧困率を明らかにした沖繩県の実態調査を示し、県としての実態調査を求めました。達増知事は「貧困の状況にある子どもや家

庭の支援ニーズなどを調査項目とする子どもの生活実態調査の実施について検討を進めている」と答えました。

盛岡市の「ひとり親家庭実態調査」結果を示し、子どもの居場所・子ども食堂への支援、就学援助の徹底を求めました。子ども食堂については、9月末現在で9市町・14箇所となっており、具体的な支援とともにネットワーキングに取り組んでいくと答弁しました。

子どもの医療費助成

現物給付化を小学校卒業まで求める 達増知事「請願採択を踏まえ市町村と調整」

子どもの医療費助成の現物給付化の小学校卒業までの拡充について達増知事は「9月県議会で採択された請願の趣旨も踏まえ市町村と調整していきたい」と前向きな答弁を行いました。



商工文教委員会で質疑に立つ斉藤県議(12月9日)

県施設の指定管理者—66%が非正規雇用

12月県議会には、29の県施設の指定管理者の指定に関する議案が提案され、具体的な実態と問題点を追及しました。

全体に共通して、コスト削減を進めた結果、指定管理者の172人(69.5%)が非正規職員で、平均時給賃金は949円と年収200万円以下の低賃金です。今回指定期間を5年間に延長する施設が多数ですが、それでも非正規職員は167人(66.8%)です。県の事業で不安定雇用を増やすことは「県が締結する契約に関する条例」に反します。また、競争となったのは1施設のみで、ほとんどが同じ事業者への指定です。指定管理者制度は行きづまり破たんしているのが現状です。

無料法律相談

～弁護士が相談に応じます～

- ・1月10日(水) 午後6時～8時
 - ・2月8日(木) 午後6時～8時
- 予約電話番号: 651-5881

無料生活相談

毎週土曜日 10時～12時

場所: 斉藤信事務所

35人学級のさらなる拡充を

小学校5・6年生への35人学級の拡充について、高橋教育長は、「少人数学級については、集団のまとまりの構築や学力の定着、不登校、いじめ問題への対応などに効果が高いと評価している。多面的かつ具体的な検討を行っていきたい」と前向きな答弁をしました。

12月県議会で県民から提出された主な請願に対する盛岡選挙区選出県議の態度 (○:賛成 ×:反対 △:一部項目に反対)

案件	斉藤信 (日本共産党)	千葉絢子 (県民クラブ)	小西和子 (社民党)	吉田敬子 (無所属)	高橋但馬 (改革岩手)	福井誠司 (自民党)	樋下正信 (無所属)	小野寺好 (公明党)	軽石義則 (改革岩手)	阿部盛重 (改革岩手)
過労死ラインの残業上限や裁量労働制の拡大ではなく、健康と暮らしを守る労働時間規制と真の同一労働同一賃金の実現を求める請願→不採択	○	×	○	×	△	×	×	×	△	△
青年が将来に希望を持ち、安心して働き暮らせる岩手の実現を求める請願→採択	○	×	○	○	○	×	×	×	○	○
日米共同訓練の中止とオスプレイの訓練参加中止を求める請願→不採択	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○
私学助成の拡充を求める請願→採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【12月】

- 30日 県母親大会県交渉、達増知事表敬
- 28日 岩手県革新懇記念講演会
- 26日 12月定例県議会開会、森林政策研究会講演会・懇談会
- 25日 赤旗全国将棋大会優勝小山さんの祝勝会
- 24日 県政要望を聞く会
- 23日 全県地方議員研修会
- 22日 北上革新懇総会で講演
- 21日 県議団で調査(ホランの広場NPO法人インクルいわて)
- 20日 産業界の成長を促す会
- 19日 産業技術短大20周年、専攻科10周年記念式典
- 17日 安倍9条改憲許すな! 県民大会
- 16日 県議団の一関調査(明生園、一関商工会議所、藤の園、JAIわて平泉)
- 15日 日本共産党宮城県議団の調査に同席(岩手の福祉資金・災害援護資金)

【11月】

- 15日 日本共産党宮城県議団の調査に同席(岩手の福祉資金・災害援護資金)
- 14日 県議団の一関調査(明生園、一関商工会議所、藤の園、JAIわて平泉)
- 13日 産業界の成長を促す会
- 12日 産業界の成長を促す会
- 11日 産業界の成長を促す会
- 10日 産業界の成長を促す会
- 9日 産業界の成長を促す会
- 8日 産業界の成長を促す会
- 7日 産業界の成長を促す会
- 6日 産業界の成長を促す会
- 5日 産業界の成長を促す会
- 4日 産業界の成長を促す会
- 3日 産業界の成長を促す会
- 2日 産業界の成長を促す会
- 1日 産業界の成長を促す会

斉藤信の
パワフル活動日誌